

授業科目名・形態	国際看護活動論	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	佐藤光子	開講期	4年前期	単位数	1

【授業の主題】

私たちの生活はあらゆる分野で世界の人々といろいろな形につながっています。私たちの健康も世界と深い関わりがあります。そこで世界の人々の健康問題や保健・医療の現状と課題を諸外国の政策や経済、文化的背景との関連から考察し、国際看護の基本理念と異文化の価値観を尊重した看護のあり方について学ぶ。

【到達目標】

1. グローバル看護、国際看護について理解する。
2. グローバルな視点で看護の普遍性や多様性について理解する。
3. 日本が行っている国際社会における連携や、国際看護活動の実践例について理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 グローバル看護とは何か
- 第 2 回 異文化・多文化と看護を考える①
- 第 3 回 社会制度と看護を考える
- 第 4 回 情報と看護を考える
- 第 5 回 教育と看護を考える
- 第 6 回 グローバルな視点をもった看護実践とは？
- 第 7 回 異文化・多文化と看護を考える②（大館在住外国人とともに考える）
- 第 8 回 国際的な視野をもつ看護師になるには？

【授業実施方法】 基本的には講義で行う。グループ討議も随時行う。

【授業準備】

毎回授業にあたって、世界でおこっている様々な事象特に健康に関する情報から感じたこと、学んだことを発表し合う。そのため情報収集し、自分の考えをまとめて発表できるよう準備すること。

【主な関連する科目】 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、看護方法論全般

【教科書等】 特に指定しない

【参考文献】

知って考えて実践する国際看護 医学書院
 国際看護学 中山書店
 系統看護学講座 看護の統合と実践 医学書院
 国際看護・国際保健 弘文堂
 ほか 授業で適時紹介する。

【成績評価方法】 レポート 90%、授業参加態度及び出席状況等 10%を総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

看護は、人種や国籍を超えた普遍性をもつ専門的な任務であると考えます。国境にこだわらないグローバルな視点で看護の普遍性や多様性を学び、私たちはどんな役割を果たすべきかを一緒に考えましょう。